

歴史・考古・民俗学から

気仙地域の魅力を語るⅡ

会場 シンガポールホール（陸前高田市コミュニティーホール）

2月21日（日曜日）

9:00—15:00

「海に生きた歴史 復興発掘調査が語る
一万年前の海との共生」移動展展示

受付開始 ▶ 12:00~

（9:00—13:00 学芸員による解説付）



報告 ▶ 司会：七海雅人（東北学院大学 文学部 教授）

13:00—13:05 5分 ● **平川 南**（大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 理事）〈挨拶〉

13:05—13:10 5分 ● **佐竹 強**（陸前高田市歴史文化研究会 会長）〈挨拶〉

13:10—13:55 45分 ● **石川 日出志**（研究代表・明治大学 文学部 教授）
テーマ：「三陸に弥生遺跡が少ないのはなぜか」

13:55—14:35 40分 ● **佐藤 信**（東京大学大学院 人文社会系研究科 教授）
テーマ：「奥州藤原氏政権と気仙地域」

14:35—15:15 40分 ● **竹井 英文**（東北学院大学 文学部 専任講師）
テーマ：「中近世移行期の気仙周辺地域 一城館跡を中心に」

15:15—15:25 10分 休憩

15:25—16:05 40分 ● **平川 新**（宮城学院女子大学 学長）
テーマ：「江戸時代の気仙地方」

16:05—16:45 40分 ● **中野 泰**（筑波大学 歴史・人類学専攻 教授）
テーマ：「陸前高田市における
行屋と民俗の地域性」

16:45—17:00 15分 ● 質 疑 応 答

17:00 ● 終 了

申込不要・入場無料



問合せ先 明治大学 石川日出志 科研研究室 ▶ 電話 03-3296-1883

主 催 文部科学省科学研究費助成事業 基盤研究(B)「気仙地域の歴史・考古・民俗学的総合研究」

共 催 岩手県立博物館、陸前高田市歴史文化研究会